

交通安全ながさき

迎春



千々石展望台より

平成24年交通安全運動期間

春の全国交通安全運動	4月 6日(金)～15日(日)	秋の全国交通安全県民運動	9月21日(金)～30日(日)
夏の交通安全県民運動	7月11日(水)～20日(金)	年末の交通安全県民運動	12月12日(水)～21日(金)



平成24年交通安全年間スローガン

平成24年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。

内閣総理大臣賞(最優秀作)

運転者(同乗者を含む)に対するもの

**車にも
乗せようマナーと
思いやり**

大阪府岸和田市 市来 吉信 64歳

歩行者・自転車利用者に対するもの

**自転車も
安全速度と
気配りを**

高知県香美市 田村 和夫 53歳

こども部門

**いそいでも
かならずかくにん
みぎひだり**

富士宮市立大富士小2年 鳥居 桜子



平成24年の交通事故死者抑止目標 **43**人以下



平成23年 長崎県内の交通事故発生状況

発生件数	7,191件(前年比 -110件)
死者	47人(前年比 -5人)
傷者	9,241人(前年比 -242人)



新年のご挨拶

財団法人長崎県交通安全協会長

川添 忠彦



新年あ
けまして
おめでと
うござい
ます。

皆様方には、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、長崎県交通安全協会の交通安全活動をはじめ、諸行事、諸活動に対し、温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。さて、昨年は三月に起きた東日本大震災と福島原発の事故を受け、人と人との絆の大切さを再認識させられた一年でありました。

このような中、昨年の長崎県内における交通事故の死者数は、前年より五人減少した四十七人でした。しかし、交通死亡事故の内容を見ますと高齢者の死者が、二十七人と八年続けて全死者数の半数以上を占めております。

長崎県交通安全協会といたしましては、平成二十七年ま

新年のご挨拶

長崎県警察本部長

入谷 誠



新年あ
けまして
おめでと
うござい
ます。

長崎県交通安全協会の皆様におかれましては、平成二十四年の輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年中は、交通安全活動に御尽力いただきましたとともに、警察業務の各般にわたり、深い御理解と多大な御支援をいただきましたことに対し、厚く御礼を申し上げます。さて、昨年の交通事故の発生状況であります。全国また本県におきましても発生件数、死者数、負傷者数いずれも前年と比較して減少しております。

全国の死者数は、四、六一一人で十一年連続して減少し、本県では四十七人で前年と比べ五人減少しました。

これは、交通安全協会をはじめ交通関係機関・団体の皆様の活動の賜物だと思いい感謝を申し上げます。

対策 ○ 飲酒運転の根絶対策

しかし、減少したとはいえ、今なお多くの方が交通事故で亡くなり怪我をされていることを思います。なお一層交通安全活動に力を入れていかなければならないと決意を新たにしているところであります。

昨年の交通死亡事故の内容を見ますと、高齢者の死者数が二十七人で前年に比べ二人の減少ではありましたが、全死者数の五十七・四％を占め平成十六年以降八年連続で五十％を超える高率で推移しております。

一方、全国的に飲酒運転根絶気運が高まり本県でも懸命に取り組んでいる中であつて、飲酒運転による死亡事故が三件も発生しております。第九次長崎県交通安全計画の「平成二十七年までに年間死者数を四十人以下にする」という目標を達成するためには、高齢者の交通事故の減少に向けた取り組みがこれまでに重要になるとともに、飲酒運転の根絶対策についても強力に推進する必要があります。

このような情勢を踏まえ、長崎県警察では、昨年に引き続き平成二十四年も

○ 高齢者の交通事故防止

交通安全協会におかれましても、各季の交通安全運動を中心として、「高齢者宅訪問活動や反射材の着用促進」等の高齢者交通事故防止、「ハンドルキーパー運動」等の飲酒運転根絶活動、自転車安全利用の促進や全ての座席のシートベルト・チャイルドシート

協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念いたしましたして、新春の御挨拶とさせていただきます。



十二月十三日～二十二日までの十日間年末の交通安全県民運動が開催されました。

県協会及び各地区協会では、県、県警、関係機関・団体と連携し、新聞、テレビ、ラジオ等を利用した広報活動を実施しました。

○期間中の交通事故の状況は、発生件数 一一七件

(前年比マイナス四件)

死者 四人

(前年比 プラス三人)

負傷者 一四八人

(前年比 プラス三人)

となります。

交通安全県民運動期間中の主な活動は、下記のとおりです。



県民運動期間中の各地区交通安全協会の主な活動状況



路面電車による広報

(長崎地区)



高齢者施設における交通安全教室

(南島原市協会)



高齢者体験型講習会

(上五島地区)



飲酒運転根絶と早め点灯のキャンペーン

(大村市協会)



児童の街頭指導

(対馬南地区)



交通安全設備(カーブミラー)の清掃活動

(対馬北地区)

交通警察出動式



年末の交通安全県民運動初日の十二月十三日、長崎市公会堂前広場において、県警主催による「平成二十三年 年末の交通安全県民運動交通警察出動式」が開催されました。

出動式には、長崎県公安委員会委員長をはじめ、市長、市内の自動車関係機関団体の会長等の出席がありました。最初に主催者や来賓者の挨拶と服装点検・車両点検があり、その後、パトカー・白バイによる長崎市内の車両パレードを行い、年末の交通安全県民運動の重点である飲酒運転の根絶と高齢者の交通事故防止等について広報が行われました。



九州地区交通安全普及活動報告会」の結果

昨年十二月十五日熊本市内において、本田技研工業(株)主催による表記の会議が開催されました。この会議は本田技研工業(株)安全運転普及本部が交通安全普及活動の一環として交通安全教育資機材を開発し、交通安全協会及び交通安全指導員に無償貸与して、交通事故の防止を図る活動を実施しています。

本報告会は、一年間の活動報告と今後の交通安全教育への参考とするために開催されました。参加者は、熊本、宮崎、大分県の交通安全指導員のほか、自治体担当者等約八十人が参加されました。

本県からは、県協会の今西職員、川棚地区協会交通安全指導員二名が出席し、県内での交通安全活動を報告したほか、本田技研工業(株)が発行している「STJ (The Safety Japan)」の担当者から取材を受け、次回発行の交通安全情報紙に交通安全活動状況が紹介されることになっております。

この会に参加した川棚地区協会の指導員からは、他企業や他県交通安全指導員等との交流でスキルアップができ、今後の活動に生かしたいとのことでした。





各地区の交通安全活動状況



活動内容

- 交通安全運動の実施
- 交通安全啓発活動
- 交通安全教室
- 高齢者の交通安全講習
- 交通事故に関する相談
- チャイルドシートの無料貸し出し（会員対象）
- 自転車教室の開催
- 優良運転者・交通功労者（団体）の表彰

大浦地区



反射材配布と活用効用
街頭キャンペーン

稲佐地区



高齢者施設訪問による
交通安全教育

浦上地区



飲酒運転根絶図画ポス
ターコンクール表彰式

諫早市協会



園児サンタによる街頭
キャンペーン

雲仙市協会



反射材の効用実験

大村市安協



子供の交通安全教室

川棚地区



飲食店への飲酒運転根
絶キャンペーン

佐世保市協会



年末安全パレード

相浦地区



飲食店への飲酒運転根
絶ポトルタグの配分

江迎地区



事業所訪問による安全
運動の協力依頼

松浦地区



高齢者施設における交
通安全教育

五島市協会



高齢者宅訪問による交
通安全指導

交通安全協会からのお願い

昨年の交通事故による死者は、47名（前年比-5名）でした。
死亡事故の内容を見ますと、高齢者の死者は27名、全死者の57.4%と8年連続して半数以上を占めております。

高齢者の交通事故を防止するため
運転者の皆さん、スピードは控えめに、
歩行者の皆さん、横断歩道を利用し、夜間は反射材を身につけて、
交通事故の防止に努めましょう。

